特定健診実施法や収納率向上策など学ぶ

国保事務担当者及び医療費適正化研修会

講演する堀博晴氏

府と府国保連合会共催の国民健康保険事務担当者及び医療費適正化研修会は、９月３，４の両日、京都市上京区のルビノ京都堀川で、３５保険者から延べ１３８人の参加者を集めて開催された。

初日は、府医療保険室長の西垣義郎氏が主催者を代表して挨拶し、医療制度改革の現状を説明した。講演はまず、ヤフー（株）ビジネスサービス本部官公庁担当の堀博晴氏が「国民健康保険料（税）収納率向上対策について」のテーマで行った。堀氏は、国の税源移譲に伴って国保料（税）の滞納は増えると見込み、収納率向上には滞納整理、差し押さえを着実に実行する必要があると訴えた。またインターネット公売についても説明した。

滋賀県医療保険課主幹の小西文子氏は「市町村における特定健診・保健指導の円滑な実施―地域における事業運営のポイント」と題して講演した。小西氏は、なぜ特定健診・保健指導を行わなければならないのかという基本から説き起こし、市町村における実務について、参加者に実施状況を問い合わせながら、ポイントと対処法をわかりやすく説明した。

二日目はレセプト点検（医科）の分科会に続いて和田内科病院長の和田成雄氏が「糖尿病と保険診療について」のテーマで講演した。

講演する和田成雄氏

講演する小西文子氏